

技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.12 3月号

2月は大イベントをふたつもこなしました。

2月は大雪情報が何度も出されて厳しい季節となりました。それにもめげず、匠会は大きな山を総力挙げて乗りこえ、確かな二年目の足跡を刻むことができました。



2月9日(土)10日(日)アオーレでの匠展



与板産の水ノミを使い見事な白鳥が…！

村のかじやの鍛冶体験は大好評。

小刀作りは人垣ができ大にぎわい。



肌を刺すような寒風の中でしたが、親子連れで会場はいっぱい。与板の打刃物のすばらしさを大いにPRできた匠展でした。



2月21日(木)~23日(土)日本橋での刃物展示会



刃物の切れ味を実際に体験できるコーナーは都会人も興味しんしん。

経節鉋が意外なヒット商品に！

日本橋展示会は今回二度目。回数を重ねることが東京での信頼を積み上げることになる、と確認できました。

次回にむけての反省会では、「与板産打刃物が使われている現場や完成品をパネルで紹介したら」「積極的にお客さんに説明ができるようになった」「都会の人のニーズを考えた品揃いをもっと工夫したい」等建設的な意見が聞かれました。やはり場数を踏むことは着実に匠会の結束を高めています。

平成24年度は匠会の存在をアピールする充実した年になりました。25年度も創意と協力で新たな局面を拓いて行きましょう。